



広安里 第2号

発行 釜山日本人学校
釜山広域市水営区民樂路 19 番道 11
TEL 051-753-4166
FAX 051-756-4851
<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>

「優しいお母さん」

学校運営委員長 宇佐美祐一

戦場で兵隊さんの最後の言葉の多くが「お母さーん！」だという。またアルツハイマー病のお年寄りに最後まで残る言葉も「お母さん！」だという。そのお母さんの多くは特別な優秀さもなければ学歴もないのかもしれない。キャリアもなければ美人でもないかもしれない。でも、きっと明るく楽しく優しいお母さん、「お袋」にちがいない。



イタリアでは喧嘩を止める時、強い方に「もうやめなさい！この人にもお母さんがいるのだから！」と言うと一発で収まるという。優しいお母さんを悲しませてはいけないのだ。まさにマンマの国の真骨頂！ところが、最近の日本では親が子どもを虐待するなど、信じられないような事件が毎日のように起こっている。

本当の意味での家庭とは、たとえば悩みを抱え疲れて帰ってきた家族を一家団欒のなかで家族同士が優しく温かく迎え入れ、励まし、それによって力を得た親や子供が「明日も頑張ろう！」という力をもらえるような家族のことをいうのだと思う。そのための役割は家族全員にあるが、とりわけお母さんの役割が大切だと思うのだ。

「戦後女は増えたが、お袋は少なくなった」「お袋らしい母親がいなくなった」と若い頃に本か何かで読んだ記憶がある。その時はピンとこなかったが、子育てが終わりかけた今頃に、ようやく少し少しわかるようになった気がする。昔はどこの家庭にも手作りの温かい食事があった。その家庭ならではの「お袋の味」があった。しかし、今ではインスタントやレトルト食品、出来合いの総菜で済ませてしまうことも多いと聞く。先ずは良き妻であって欲しいとの願望がもちろんあるのだが、特に子供が小さい時には、むしろ「良いお母さん」である方が良いのではないかと思うようになった。プラスマイナスそれぞれあるのだろうが、結局、子供にとってもお父さんにとっても、また、当のお母さんにとっても一番幸せな生き方ではないだろうか。そして、明るく楽しく温かい家庭が何より良い。どんなに沢山お金があったとしても、人は家庭の温かみがなければ真の意味で幸せとはいえない。これは皆同じはずである。私たちはたとえ貧しくても温かい家庭があり、家族の絆がしっかりしていれば幸せだし、明るく生きることも出来るのだ。

日本で外国の家族をテーマにした番組をよく観ていたが、親の愛情の下で親子の絆が強く、実に幸せそうな家族が多い。素朴で時には本当に貧しい生活であるが、そこには優しいお母さんが中心にいて、心温まる家庭がある。このような家庭が今の日本では少なくなっているように思う（我が家もそうかもしれないが・・・）。だからわざわざテレビ局が外国にまで取材に行き、それを私のような視聴者がある種の憧れやノスタルジーをもって観るのだろう。テレビ漫画の「サザエさん」が国民的な人気の長寿番組というのも、こういった現状の裏返しなのかも知れない。（自戒の念を込めて）私達はもっと家族を大切にしよう。夫婦、親子、兄弟、家族みんな仲良しが一番。これが健全で明るく素直な子供を育てる大切な秘訣ではないだろうか。とりわけ優しい、時には強いお母さんの存在が欠かせない。

学級の窓

小学部3年生

学級目標

ファイト!

みんなで決めたクラスの目標です。

- ・楽しいクラス
 - ・勉強を頑張るクラス
 - ・協力するクラス
 - ・明るい挨拶をするクラス
- をめあてに、1年間頑張ります。

小学部3年生の目指す生徒像

- 思いやりをもち豊かな人間関係を作る子ども
- 自ら学び、ともに学び合、高め合う子ども
- 最後までやりとげる子ども

学級では、こんな取り組みをしています

今月の目標

月の初めに、学級の生活目標を決めています。日頃の生活を振り返って、気をつけて行動すべきことや頑張ることを決めて生活しています。

いいところさがし

1日を振り返り、クラスの友だちについて、頑張っていたところや良かったことを帰りの会で発表しています。

サイコロトーク

人前でもしっかり自分の考えや意見を表現することに慣れるために、日直当番が帰りの会で、与えられた話題について話をしています。

<1 学期がんばりたいこと!>

運動のめあて

- ・二重跳びを十回以上跳べるようにする。

生活のめあて

- ・すみずみまで掃除をする。

学習のめあて

- ・新しい学習にも集中して取り組む。

運動のめあて

- ・二重跳びを五回以上跳べるようにする。

生活のめあて

- ・元気な挨拶をする。

学習のめあて

- ・丁寧な字を書く。

運動のめあて

- ・二重跳びを十回以上跳ぶ。

生活のめあて

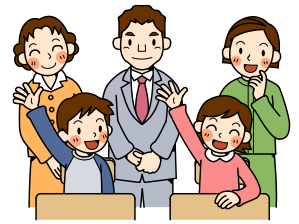
- ・忘れ物をゼロにする。

学習のめあて

- ・きれいな字を書く。



保護者のコーナー



「ドキドキドン！一年生♪」

伊藤 瞳

「桜咲いたら一年生、一人でいけるかな～。誰でも最初は一年生、ドキドキするけどどんと行け！」幼稚園の卒園式を目前にふと、息子が口ずさんでいました。私が子どもの頃は定番の歌でしたが、久しぶりに聞くと懐かしさとともに、息子もこの歌のように学校生活にドキドキ、ワクワクしているのだなと思いました。入学から一ヶ月、息子は学校が大好きです。朝が苦手だったのに小学校に入学してからは自分から起きてきます。宿題も帰ったら言われなくても机に向かう姿が見られ、さすがピカピカの一年生だなと思います。小規模ながらも下の学年への思いやりはどこの学校にも負けないのではないかと思います。出会えたことに感謝し、釜山日本人学校でしか味わえない事に沢山挑戦して行って欲しいです。一期一会の出会いを家族共々大切にしたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

「待ちに待った入学」

小川 悦子

降り続いた雨が止み、晴れ間をのぞかせた陽春の日、二男の航平が入学しました。「ペルテス病」という病気を抱え、昨年の秋から左足装具での生活を余儀なくされた息子にとって、日本人学校への入学は待ちに待っていたものでした。

海外生活での闘病、不自由な装具での生活は困難を極めるものであり、慣れるまでは本当に大変で、毎日泣きながらリハビリをしていました。そんな息子が、日本人学校に受け入れてもらえるか不安で一杯でしたが、入学を許可して頂き、本当に感謝しています。

装具生活のため、皆と同じように出来ない事が沢山ありますし、わんぱくな息子が先生方や児童生徒の皆さんにご迷惑をおかけすることも多々あると思います。けれども今、毎日とても楽しく学校に通っている息子が、これからの学校生活の中で、先輩方の背中を見ながら多くの事を学び、一歩ずつ成長していってくれると信じて見守っていきたいと思います。皆さん、どうかよろしくをお願いします。